

木原防衛大臣のフィリピン共和国訪問

令和6年7月8日（月）、木原稔防衛大臣はフィリピン共和国を訪問したところ、概要以下の通り。

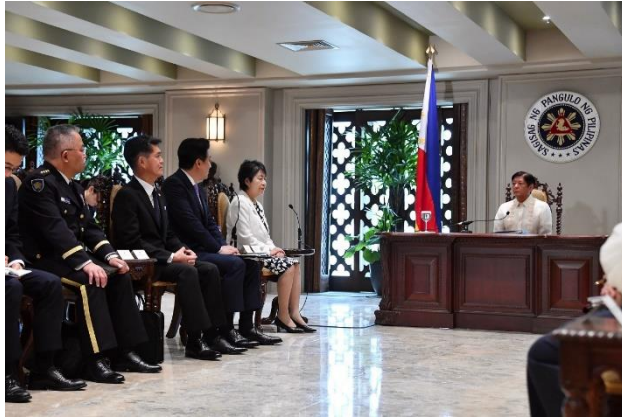
1 ホセ・リサール像への献花

木原防衛大臣及び上川外務大臣は、フィリピンの独立運動を主導した国民的英雄ホセ・リサールの像が設置されているリサール公園において献花を行いました。



2 マルコス大統領表敬

木原防衛大臣は、比大統領府において、上川外務大臣とともにマルコス大統領を表敬しました。木原大臣から、最近の防衛協力・交流の大きな進展について触れ、引き続き「自由で開かれたインド太平洋」の実現のため、両国間の防衛協力・交流を強化する旨述べました。



3 RAA署名式

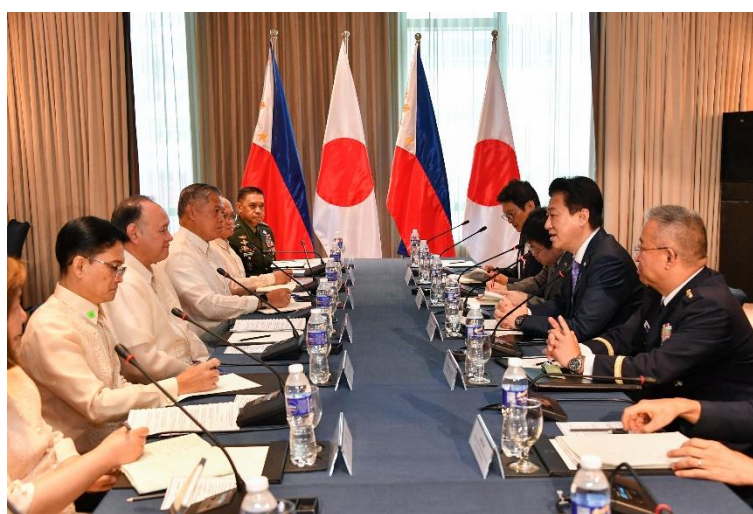
木原防衛大臣は、比大統領府において、上川外務大臣とともに、日本国の自衛隊とフィリピン軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とフィリピン共和国との間の協定（日比円滑化協定）への署名式に出席しました。この協定により、日比両国の安全保障・防衛協力が一層活発化することが期待されます。



4 日比防衛相会談

木原防衛大臣は、テオドロ比国防大臣と、5月に引き続き本年2度目の日比防衛相会談を実施しました。会談では日比防衛協力・交

流の近年の深化を象徴するかのよう、マルコス大統領立ち合いの下、日比R A A署名が実現したことを歓迎しました。また、両者は、法の支配に基づく、「自由で開かれたインド太平洋」を維持・強化するとともに今後も、防衛装備・技術協力を含め、二国間の防衛協力・交流を更に進めていくことで一致しました。



5 日比2 + 2

木原防衛大臣及び上川外務大臣は、テオドロ比国防大臣及びマナロ比外務大臣との間で、第2回日・フィリピン外務・防衛閣僚会合（「2 + 2」）を開催しました。四大臣は、共に海洋国家であり、民主主義、法の支配といった基本的価値観を共有する両国の関係を、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて、深化させていくことを確認しました。

